

枕棚セット

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



そり・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で通直な物を選んでご使用ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気を付けください。



躯体精度

躯体の垂直度、床の水平度を正確に出して施工してください。



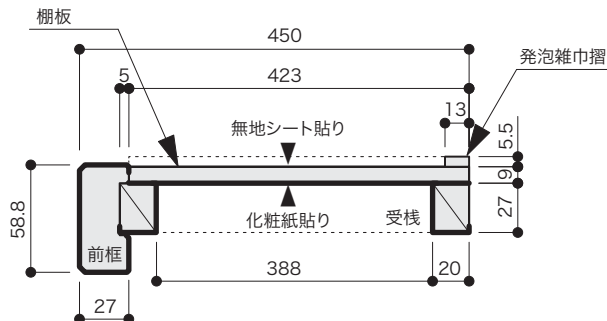
補強

間口が2Mを超える場合（例えば9尺間口など）は吊木や束などの補強材もしくは補受・吊金具などを使って十分な補強を施してください。

製品断面図

枕棚セット

(寸法単位:mm)



化粧面範囲

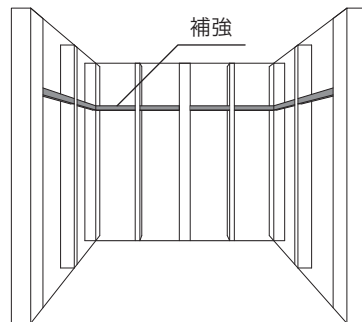
下地施工について

壁材(合板・石膏ボード)取り付け前に、下地の位置をご確認ください。前框・受棧のビス止め位置に下地がない場合は、必ず下地補強を施してください。

壁面の下地処理

棚板の受棧の取付位置に間柱・補強材等の下地処理を施してください。

※棚板の荷重強度は下地強度によって大きく左右されます。十分な補強を行ってください。



パーツセット明細

以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

(寸法単位:mm)

※1 ビスセットに木口シールが同梱されていますが、施工には必要ありません。
※2 ボルト(L=25)以外にボルト(L=40)が同梱されていますが、施工には必要ありません。

枕棚セット Cシリーズ

メーターモジュール(奥行450)	450×945		450×1945		450×2945	
部材	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数
棚板	9×423×945	1枚	9×423×1945	1枚	9×423×2945	1枚
前框	58.8×27×945	1本	58.8×27×1945	1本	58.8×27×2945	1本
受棧	20×27×945	2本	20×27×1945	2本	20×27×2945	2本
	30×27×388	2本	30×27×388	2本	30×27×388	4本
雑巾摺	5.5×13×945	2本	5.5×13×1945	1本	5.5×13×2945	1本
	-	-	5.5×13×945	1本	5.5×13×945	1本
ビスセット ※1	L=65	7本	L=65	9本	L=65	11本
	L=51	2本	L=51	2本	L=51	8本
	L=30	3本	L=30	5本	L=30	7本
	ビスキャップセット	9セット	ビスキャップセット	11セット	ビスキャップセット	13セット
耐荷重シール		1枚		1枚		1枚

I型の施工手順

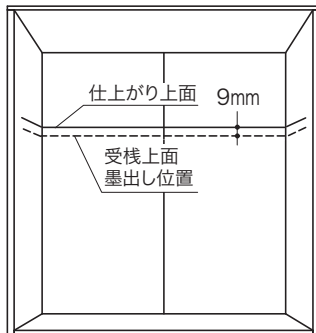
[枕棚セット]

※受棧(後・側・前)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。
あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。

※ビスの種類、打ち位置、本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。

※間口2M以上の場合は必ず **間口が2M以上の場合の補強方法** をご参照ください。

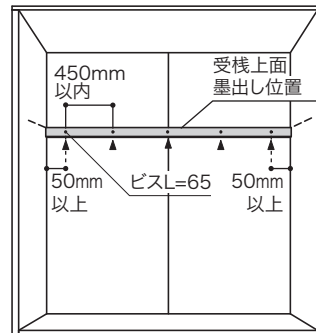
① 取り付け位置の墨出し



棚板の仕上がり上面より9mm下に受棧上面の墨出しを行なってください。

② 後受棧の取り付け

下穴加工が必要です。

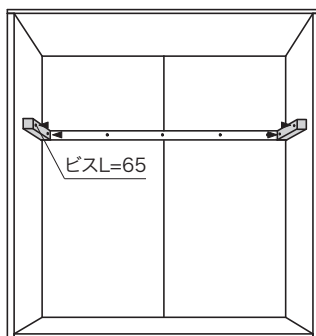


後受棧を間口寸法にカットし、前枠位置を確認の上、φ3mm位の下穴を開けた後、後壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

※9尺の場合は先に後受棧にセンター用受棧(L=388)を取り付けてから壁に取り付けてください。(P4参照)

③ 側受棧の取り付け

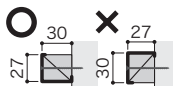
下穴加工が必要です。



左右の側受棧にφ3mm位の下穴を開けた後、両側壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

ご注意

●受棧の取り付け向きにご注意ください。

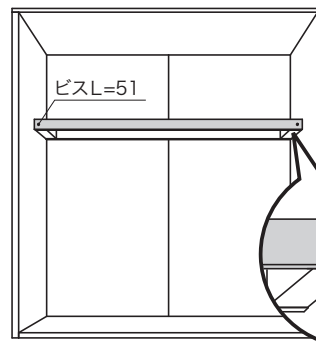


ご注意

- 受棧の取り付け向きにご注意ください。
- ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打つようにしてください。
- ビス止めピッチは450mm以内で打つようにしてください。

下穴加工が必要です。

④ 前受棧の取り付け



前受棧を間口寸法にカットし、左右の側受棧木口中央部にφ3mm位の下穴を開けた後、ビスL=51で固定してください。

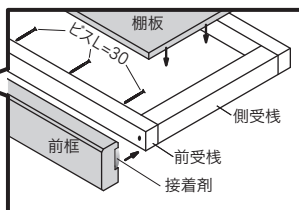
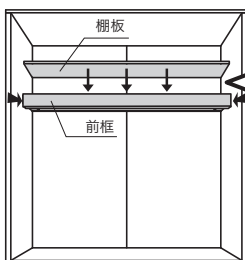
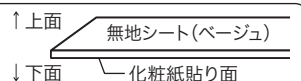
⑤ 前枠・棚板の取り付け

下穴加工が必要です。

前枠・棚板の寸法を取り、カットしてください。「枕棚仕上がり奥行」-27mmが棚板奥行寸法です。

ご注意

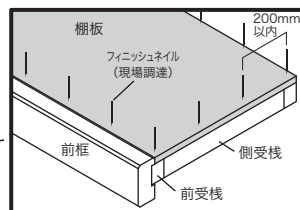
棚板は**無地シート(ベージュ)の面を上側**にしてください。



1. 前枠を前受棧に取り付けます。

前枠裏面に接着剤を塗布後、前受棧裏面より前枠と前受棧をしっかり押さえてφ3mm位の下穴を開けた後、ビスL=30で固定してください。

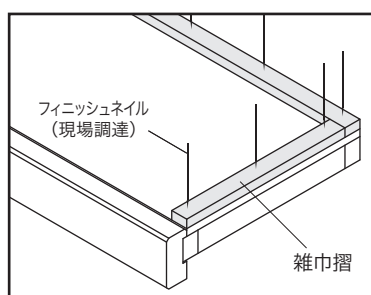
※接着剤・・・酢ビ系木工用ボンド(現場調達)



2. 棚板を受棧上面に設置します。

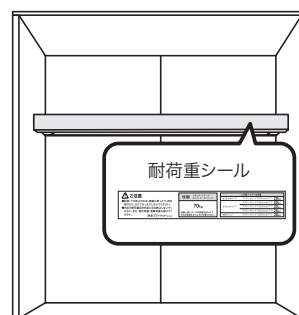
棚板をフィニッシュネイル(現場調達)で、受棧に固定してください。(ピッチ200mm以内)

⑥ 雑巾摺の取り付け



雑巾摺を適寸にカットし、棚板上の壁際にしてフィニッシュネイル(現場調達)で取り付けてください。

⑦ 完成



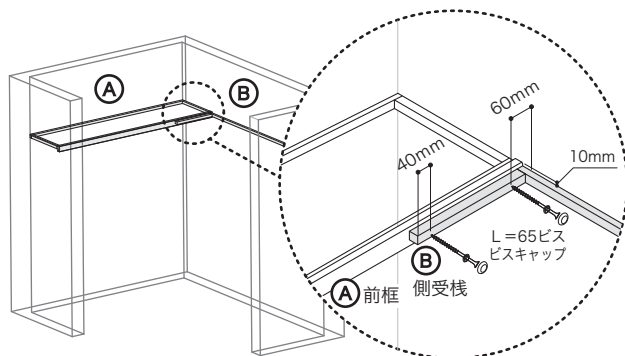
施工後は同梱の耐荷重シールを見る箇所に貼ってください。

L型の施工手順

- ※受棧(後・側・前)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。
あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。
- ※ビスの種類、打ち位置、本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。
- ※間口2M以上の場合は必ず **間口が2M以上の場合の補強方法** をご参照ください。

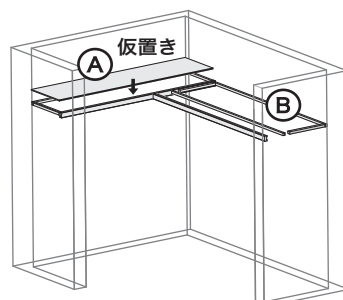
1 受棧の取り付け

下穴加工が必要です。



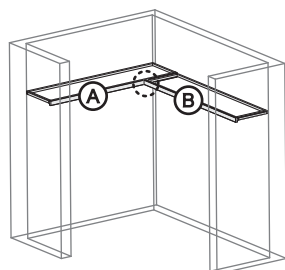
I型施工手順(本紙P3)④までを施工します。
①前框を取り付けた後、①前框の上から10mm下の位置に、②の側受棧・後受棧をφ3mm位の下穴を開け、ビスL=65で取り付けてください。

②前框、前受棧をカットする際は、①框のたわみを防止するため①の棚板を**仮置き**して採寸してください。

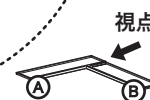
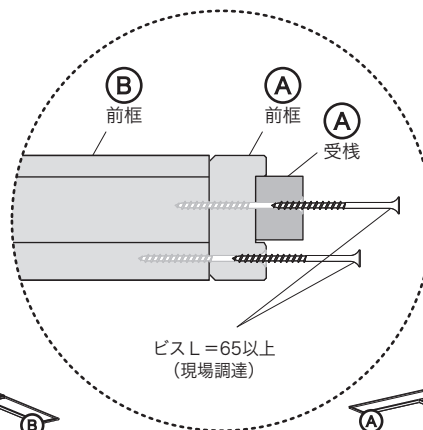
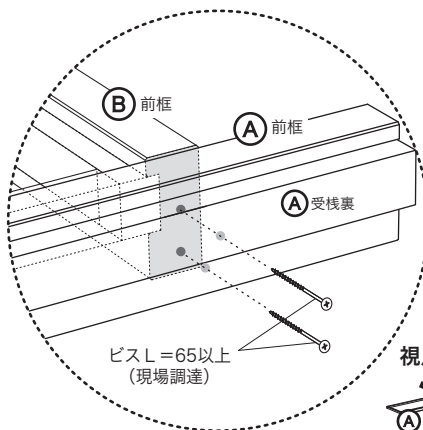


2 前框の取り付け

下穴加工が必要です。

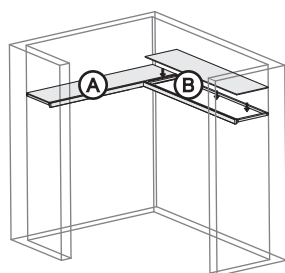


L字に交差する部分の補強として、①受棧裏から交差する②前框の断面に向かってφ3mm位の下穴を開け、ビスL=65以上(現場調達)を打ってください。

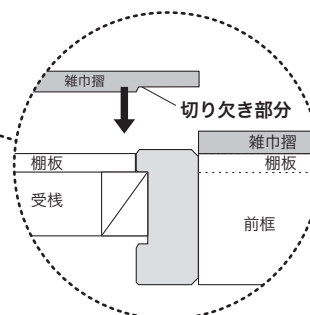
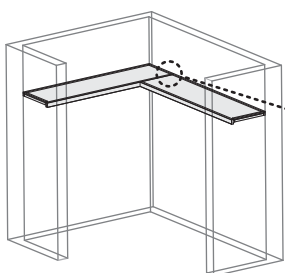


3 棚板の取り付け

4 雑巾摺の取り付け



I型の施工手順P3⑤、P4⑥と同様に①②両方の棚板を施工します。



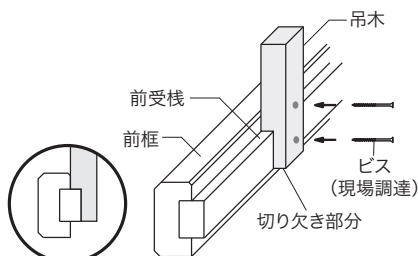
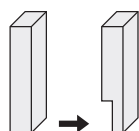
段差ができるので、雑巾摺を前框の幅の分を切り欠いてください。

間口が2M以上の場合の補強方法

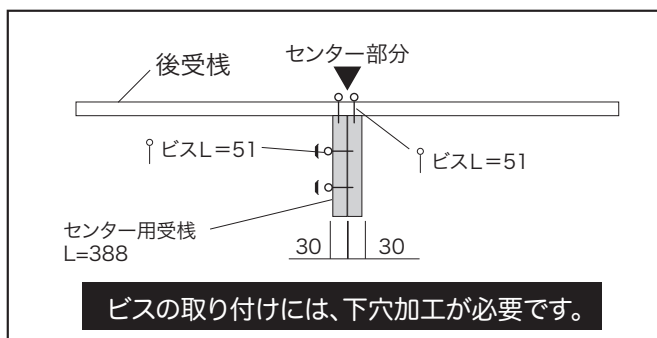
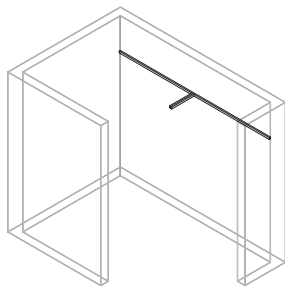
間口が2M以上の場合は、棚板・受棧の連結部分で下図のいずれかの方法を用いて補強してください。

吊木(現場調達)の取り付け

吊り木を切り欠いてください。棚板取付前に、框・前受棧にビスで固定します。



※9尺の場合は先に後受桟にセンター用受桟(27×30mm)を取り付けてから壁に取り付けてください。

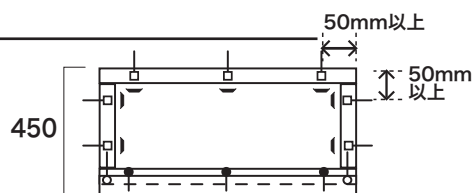


ビス打ちの基本本数・位置

↑ビスL=65 ↑ビスL=50 ↑ビスL=51 ↑ビスL=30 ービスキャップセット

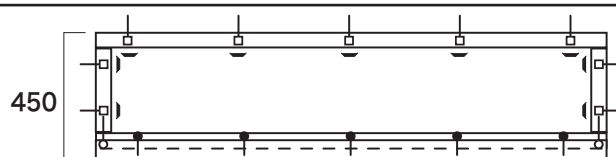
3尺

	ビスキャップ	D=450
L=65 ↑	○	7本
L=51 ↑		2本
L=30 ↑		3本
ビスキャップセット	ー	9セット (予備2セット)



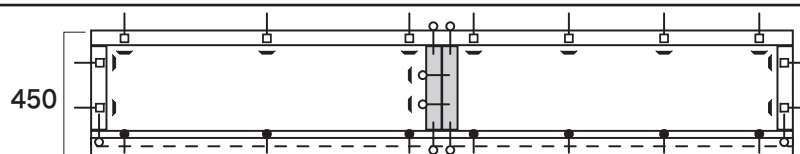
6尺

	ビスキャップ	D=450
L=65 ↑	○	9本
L=51 ↑		2本
L=30 ↑		5本
ビスキャップセット	ー	11セット (予備2セット)



9尺

	ビスキャップ	D=450
L=65 ↑	○	11本
L=51 ↑		6本
L=51 ↑	○	2本
L=30 ↑		7本
ビスキャップセット	ー	13セット



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この建築材料は以下の内容で登録しています。

発散等級区分: F☆☆☆☆

対象部位: 棚板

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

(一社)日本建材・住宅設備産業協会

発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-001484
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問合わせ先	https://www.kensankyo.org/